***業　績　リ　ス　ト***

１　　著　　書　(単著)

（１）金成㙾、2000年２月

　　『韓国における食肉流通』農林統計協会

（２）金成㙾、2011年5月

『クーワードで読み解く現代農業と食料・環境』（第Ⅴ部生産構造と生産要素・第2節 畜産物（１経営環境と畜産経営、２輸入と消費の動向、３輸入飼料と自給飼料生産の可能性）（pp174-179）、昭和堂「農業と経済」編集委員会 監修／小池恒男・新山陽子・秋津元輝 編

（３）金成㙾、2017年3月

『クーワードで読み解く現代農業と食料・環境』（新版）（第Ⅴ部生産構造と生産要素・第2節 畜産物（１経営環境と畜産経営、２輸入と消費の動向、３輸入飼料と自給飼料生産の可能性）（pp174-179）、昭和堂「農業と経済」編集委員会 監修／小池恒男・新山陽子・秋津元輝 編

２　　学　術　論　文（レフェリ－付き学会誌論文）

（１）金成㙾「韓国における食肉卸売市場の成立・展開と今後の発展方向」

『農業市場研究』第６巻第２号pp24-35、1998年３月

（２）金成㙾「食肉卸段階市場における経済主体の市場行動分析－韓国の牛肉市場

　　　における製品差別化行動を中心に－」『農林業問題研究』第34巻第2号

pp1-12、1998年９月

（３）金成㙾「韓国における食肉類似卸売市場の成立・展開と今後の展望」

『フードシステム研究』第5巻２号（通巻９号）pp72‐84、1998年12月

（４）金成㙾「韓国における食肉流通構造再編の動向‐市場外流通の登場・拡大」

　　『農業市場研究』第８巻第２号pp14‐23、2000年４月

　（５）金成㙾「米国における家畜ふん尿の製品化と市場流通の現状と課題」

　　『農業市場研究』第10巻第１号pp40‐49、2001年10月

（６）金成㙾・早川治「アメリカにおける有機畜産認証制度の法制化とその課題」

『農業市場研究』第12巻第1号pp9-20（2003年6月）

（７）金成㙾「米国における農業環境政策の展開と課題」『農業経済論集』第54巻

第1号pp101‐114、2003年6月（九州農業経済学会）

（８）金成㙾「銘柄産地ブランド確立と認証制度―鹿児島黒豚ブランドを事例として―」『農業市場研究』第12巻第2号pp61‐71、2003年12月

（９）金成㙾・早川治「米国食品安全政策の構造と性格に関する批判的考察」『農業市場研究』第13巻第2号pp45‐55、2004年12月

（１０）金成㙾「食品安全供給のためのフードシステムのあり方－JA全農の牛肉安心システムを事例としてー」『フードシステム研究』第11巻3号（通巻25号）pp33‐46、2005年2月

（１１）金成㙾「日本におけるワイン産業の現状と課題－山梨県勝沼町の中堅ワイ

ン・メーカーの事例を中心に－」『農業市場研究』第14巻第1号pp49‐60、2005年6月

（１２）金成㙾「短角牛提携産直における使用価値の品質化－岩手県山形村と大地を守る会との提携産直を事例として－」『農業市場研究』第15巻第2号pp77‐87、2006年12月

（１３）大西千絵・小沢亙・金成㙾・小野雅之「農産物直売活動の社会的距離に関する研究−山形県の「市」と直売所を事例として−」『2006年度日本農業経済学会論文集』pp.111-118，2006年

（１４）Duk-Byeong Park・Sung-Gak, Kim（Oct 2007）: Exploring the Geographical Indications for Enhancing Micro-business as a Community-Based Industry in Rural Korea．Journal of Food System Research、14（2）pp.16-26

（１５）大西千絵・小沢亙・金成㙾・小野雅之「「市」と「直売所」における相違点と今後の展開方向」『フードシステム研究』第15巻３号pp.1-10、2008年12月

（１６）金成㙾・大西千絵：WTO体制における食品安全と国際貿易の課題－牛肉安全をめぐる国際紛争を事例として－．農業市場研究、18（3）、13-24、2009年

（１７）金成㙾「米所得等補填直接支払い制度と韓国農業への影響分析」『農業市場研究』第19巻第4号pp.38-47、2011年3月

（１８）金成㙾「韓国農協グループの米事業の現状と課題－大型流通店の米取扱いシェア拡大の下での農協米事業のあり方－」『農業市場研究』第20巻第1号pp.27-37、2011年6月

（１９）金成㙾「韓国における米流通構造形成と農協米事業」『農業市場研究』第20巻第2号pp.11-21、2011年9月

（２０）金成㙾・朴徳秉「韓国ブロイラー産業における「生産契約」の現状と課題－H社の「相対評価方式による生産契約」を中心に－」『農村経済研究』第30巻第1号pp.64-73、2012年3月

（２１）金成㙾「WTO時代における米国農政の展開と課題－価格・所得支持対策を中心に－」山形大学紀要（農学）第１６巻第３号pp.117-125、2012年2月

（２２）金成㙾2013（平成25）年「農業者戸別所得補償制度の性格と限界」山形大学紀要（農学）第１６巻第４号pp.229-239、2013年2月

（２３）金成㙾2013（平成25）年「韓国ブロイラー産業における垂直的協約の展開と課題－農協系M社の絶対評価生産契約を中心に－」『フードシステム研究』第19巻4号pp.1-10、2013年3月．

（２４）金成㙾2013（平成25）年「韓国の青果物産地流通組織化の現状と課題－農協中央会の経済・信用分離論の農協共販体制への影響－」『農村経済研究』第31巻第1号pp.1-10、2013年6月

（２５）金成㙾2013（平成25）年「自由貿易時代における韓国農政の混迷―米所得等補填直接支払い制度とその変遷を中心に―」『農村経済研究』第31巻第2号pp.43-52、2013年9月．

（２６）金成㙾2014（平成26）年「次期（2013年）米国農業法の性格についての一考察－固定型直接支払い廃止とセーフティネット強化の思惑と影響－」山形大学紀要（農学）第１７巻第１号pp.31-40．

（２７）金成㙾2014（平成26）年「**韓国の青果物流通における連合事業の意義と課題―S**組合共同事業法人の事例を中心に**―」**『農村経済研究』第32巻第1号pp.64-73、2014年3月．

（２８）金成㙾2015（平成27）年「WTO国内補助金規定に対する米国農政の対応（WTO通知から読み取れる米国の思惑）」山形大学紀要（農学）第１７巻第2号（2015年2月）pp.37-48．

（２９）金成㙾2016（平成28）年「米国綿花補助金に対するWTO裁定と米国農政の対応（綿花裁定の意義と残された課題）」山形大学紀要（農学）第１７巻第３号

pp.25-37．

（３０）金成㙾2017（平成29）年「韓国の農業補助金とWTOルールによる制約

（コメ直接支払いとWTO国内助成通知の検討を中心に）」山形大学紀要（農学）第１7巻第４号pp.49-59．

（３１）陳奥飛・金成㙾・藤科智海2018（平成30）年「中国ブロイラー産業における農民専業合作社の役割『農村経済研究』第35巻第2号pp.84-95.

（３２）金成㙾2020（令和2年3月）年「韓国による日本産水産物等の輸入規制に対するWTO裁定の争点と課題」石川県立大学研究紀要第３号pp.13-21．

３　　その他の学術論文

1. 金成㙾「アメリカにおける畜産環境対策」『農業と経済』2001年９月
2. 金成㙾「米国における食肉安全性確保システム」『農村と都市を結ぶ』2002年２月
3. 金成㙾「アメリカ養豚産業における垂直調整の展開と課題」『畜産の研究』第56巻３号、2002年３月
4. 金成㙾「食品の安全性とHACCP－アメリカにおけるFSIS「食肉検査規則」を中心に－」『農業と経済』2002年３月
5. 金成㙾「アメリカの食品安全政策の構造－食品安全に関する法・機構を中心に－」『農業と経済』2002年12月（臨時増刊号）
6. 金成㙾「アメリカの食品安全政策の構造」『食品安全確保の社会システムと食品行政』（参議院農林水産委員会調査室委託調査）pp367－381、2003年2月
7. 新山陽子・金成㙾「米国の食肉安全確保システムの検証と日本のシステム構築への提言」『食肉に関する助成研究調査成果報告書』（伊藤記念財団）Vol．21pp287－292、2003年12月
8. 金成㙾「国産食肉の安全性確保システム構築に関する研究－JA全農安心システムを事例としてー」『協同組合奨励研究報告』第30輯（2004年9月）pp50-74
9. 金成㙾「鹿児島黒豚ブランドと認証制度」『農業と経済』2005年11月号
10. 金成㙾「アメリカのBSE対策の実像」『農業と経済』2005年12月号
11. 金成㙾「WTO体制における食品安全と国際貿易」『地域農業と農協』第40巻第2号（2010年9月）pp.4～7。
12. 金成㙾「韓国の加工食品原産地表示制度の現状について　-後を絶たない原産地不正表示-」『農業と経済』2017年３月号。

４　　その他の学術業績

　　　（調査報告書など）

（１）藤谷築次、武部隆、新山陽子、吉野章、金成㙾『農産物卸売市場の機能と制度に関する理論的実証的研究』（文部省科学研究費補助金基礎研究）「第２章　執筆：食肉の主要卸売市場の現状と取引の実態－東京都中央卸売市場食肉市場の事例から」pp18－25、1998年３月

（２）金成㙾『畜産物の流通経路別・段階別流通マージン分析』

　　　（韓国）畜協中央会、1998年９月（韓国語）

（３）金成㙾「日本の狂牛病対策と食肉関連産業への影響分析」

（2002/01/21より4回連載）（[www.DreamXFarm.com](http://www.DreamXFarm.com)）（韓国語）

（４）金成㙾「日本の食肉市場の現状と韓国豚肉の輸出戦略」『現代養豚』（2002年６月号～８月号まで3回連載）（韓国語）

（５）藤谷築次、小池恒男、青柳斉、金成㙾、堀田学、松本一実、津田将、朝倉裕　貴『ＪＡグループ宮城の地域農業対応戦略確立のための調査研究事業』（農業開発研

修センター）「第５章（第3節3 pp200－204、第4節3 pp208－209）、第6章（第3節3 pp224－226、第4節3 p251）、第７章（第2節3 pp270－274）、第８章（第5節pp301－302）執筆」、2006年10月

（６）佐藤了、金成㙾『米産業の競争構造とマーケティング対応型産地再編戦略に関する研究』科学研究費補助金（基盤研究Ｂ）研究成果報告書「執筆：韓国における環境保全米の生産・流通の現状と課題」pp113－121、2007年3月

（７）金成㙾「WTO体制下における山形県産コメの方向性」『平成19年度・非常勤役員研究会資料』pp39－59、山形県農業協同組合中央会（2007年12月6日）

　（書評）

（１）『アメリカ新世代農協の挑戦』（クリストファー・D・メレット、ノーマン・ワルツァー編著/村田武、磯田宏監訳）、地域農業と農協第33巻第3号（2004年1月5日）p.64

（２）『養豚の経済分析』（宮田剛志著、農林統計出版、2010年）、農業と経済2010年12月号、p.95

（３）日韓畜産研究会編「貿易体制の変化と日韓畜産の未来」農林統計出版

『フードシステム研究』第17巻３号pp.276-278、2010年12月

（４）柳京煕・吉田成雄編　『韓国のFTA戦略と日本農業への示唆』筑波書房（2011年）、農業と経済2011年12月号.

（５）『米韓FTA　日本への示唆』（品川優著、筑波書房、2019年）地域農業と農協第49巻第2号（2019年9月）p.25